

令和7年一番茶情勢について

令和7年5月19日現在

J A 静岡経済連 茶業課

1 気象状況 【観測地点 菊川牧之原】

- (1) 平均気温は、3月～4月は平年より高めでしたが、5月上旬は平年を下回りました。その後も急激な気温上昇はなく推移しています。
- (2) 降水量は、3月～4月は平年を下回りましたが、5月上旬は平年を上回りました。

2 生産状況

- (1) 県下の一番茶生産は5月末に大方終了する見込みです。
てん茶生産も終盤を迎えています。
- (2) 茶期を通じ、全ての茶種で例年より反収が少ない状態が続いています。
- (3) 連続降雨や急激な気温上昇がないことから、生産後半でも荒茶品質は安定しています。
- (4) 県下荒茶生産量は、工場間格差が大きい状況ですが、前年(10,000t)の80～90%程度を見込みます。

3 流通状況

- (1) 山間地・遅場所の現在の価格は、2,000円台～1,300円前後となっています。山間地の良質なかぶせ茶は3,000円台後半～半ばで取引されています。
- (2) 1,000円台に入ってから積極的な仕入れが続きましたが、一番茶仕入れはほぼ終了し、二番茶仕入れの計画を立てる茶商が多くなっています。
- (3) 下値は1,300円前後で、前年の500円程度を大きく上回っています。
- (4) 有機栽培茶及びてん茶は引き合いが強く、前年以上の価格で取引されています。
- (5) 県下荒茶平均価格は、前年(1,763円)の120～130%程度を見込みます。

4 茶市場取引状況

(単位: kg・円/kg・%)

項 目		令和7年(5/19現在)		令和6年最終		前年比	
		数量	単価	数量	単価	数量	単価
静岡 茶市場	県内産	430,127	2,068	624,372	1,591	68.9	130.0
	県外産	241,881	2,209	300,672	1,794	80.4	123.2
鹿児島茶市場		2,133,319	2,288	2,552,387	1,771	83.6	129.2

5 その他

- (1) 所得確保や煎茶価格の安定に向けた対策として、煎茶からてん茶やかぶせ茶への生産転換、てん茶工場への生葉移動が県内各地で実施されました。気象状況も重なり煎茶生産量は前年を大きく下回ったため、煎茶の最終価格は前年以上となりました。
- (2) 煎茶の消費環境は依然として厳しい状況が続いています。煎茶をつくり続けてよい環境には至っていませんので、引き続き生産転換、生葉移動等、煎茶価格安定に向けた取り組みを実践してください。

㈱静岡茶市場情報(5月19日現在)

- (1) 県内産一番茶の取引は、東部物もほぼ終了し、残るは一部産地の玉露とかぶせ茶、刈番となりました。
- (2) 入札コーナーには出物や和紅茶の出品が多く、棒茶は出回りが少ないため高値の取引となっています。
本年は本茶同様に刈番の収量も少なく、出回りは限定的です。

以 上